プログラム名	No.3 扂	営教大もりのたんけんたい
実施団体	〇団 体 名:宮城教育大学幼児教育研究会 〇代表者名:飯島 典子 〇電話:022-214-3511 〇FAX:022-214-3511 〇住 所:仙台市青葉区荒巻字青葉 149 宮城教育大学 飯島典子研究室 〇E一Mail:n-iijima@staff.miyakyo-u.ac.jp	
対象者	幼児(3~5歳)	
対象人数	20人まで	
学習場所	宮城教育大学	
学習時間	2~3時間	
学習時期	1 0月中旬~1 1月上旬(金曜日 10:00~12:30)	
準備物品・費用等 (講師謝金を除く)	実施団体側	探索グッズ、救急セット、防虫スプレー、カメラ、印刷機、名札、ビニールシート、 紙芝居、材料、落ち葉、木の実等
	利用者側	帽子、軍手、タオル、動きやすい服装、ビニール袋、昼食、水筒
事前打ち合わせ	実施の1か月前頃(大学への移動手段と到着時間の確認など)	
効果的な学習段階	幼児期の環境学習の導入	

1. 学習のねらい

幼児教育では、「環境」「表現」「健康」「人間関係」「言葉」という5つの発達側面があり、直接的体験を通して発達を 助長すること、子どもの「生きる力」の基礎を育むことをねらいとしている。

本プログラムの索活動では、子どもたちが豊富な自然環境に触れ、自然とのかかわりを深めていく中で、自然に対する興 味・関心を育む。







2. 学習する内容

(1) たんけんたい始まりの会

〇一日の流れや安全・マナーの確認 〇体操



(2)探索へ出発

○宮教大の構内を探索し、自然の中にあ る不思議を見つけていく。

探索の途中には、いくつかのチェックポイ ントがあり、そこに示されたテーマから自 然についての理解を深めていく。





3. 学習のポイント

- ・グループに分かれ、一緒に活動する仲 間を確認する。
- ・アイスブレイクとして、みんなで楽し く体操する。
- ・活動内容および活動中の注意事項を子 どもと確認する。
- ・葉っぱや木の実の、色や形の違いに気 付く。
- ・同じコースの友達と、探す楽しみ、見 つける喜びを共有する。
- 五感を使って自然とかかわる。

(3) 自然物を使った制作活動

- ○構内で集めた自然物を見ながら、それぞれの特徴を確認する。
- ○集めた自然物を使って制作活動を楽しむ。





- ・活動で集めた自然物を出して、場面や状況などを振り返り、自然についての気付きを言語化する。
- ・自然物を組み合わせ、子どもの内面から 溢れる表現を具体化する。

学習相

(3) 昼食

〇会話を楽しみながら、昼食を摂る。

(4) たんけんたいライセンス授与式

〇たんけんたいライセンスを受け取る。

・活動を振り返り、達成感を味わう。これ からも自然に対して、興味・関心をもち、 自ら自然とかかわろうとする意欲を持 つ。

4. 学習のまとめ

普段、車の往来を気にせずに思い思いに歩く機会があまりないと思われる幼児にとっては、コースを歩くというだけでも 豊かな探索活動となる。落ち葉や木の実を集めることを楽しみながら、それらに様々な種類や形、色などがあることに気 づくようになる。また、落ち葉を踏んで感触を楽しむなど、体の諸感覚を使って自然とかかわることの楽しさを実感でき るようになる。さらに、仲間との会話を楽しみ、初めて出会った人々との関わりを通して子どもの社会経験を拡げること ができる。

追加・変更できる 学習内容	プログラム時間を短縮することができます。
事前・事後学習に ついての助言	事後学習として、この活動によって得た様々なかかわり(自然とのかかわり・自然を通しての人とのかかわり)や、自然への興味・関心をさらに深めていっていただきたい。
雨天時の学習内容	雨天時は、原則中止。 用意された自然物で制作活動をする。